

かくだ市議会だより



【今号の表紙】

撮影日：令和4年12月15日

場 所：議会議場

- 新年のごあいさつ 2
- 議会だより編集会議から 2
- 行政視察報告 3
- 傍聴について 4

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



新年のごあいさつ



あけましておめでとうございませす



角田市議会議長

渡邊

誠

明けましておめでとうございませす。
謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本市の市政運営ならびに議会活動に對しまして皆様の温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、地方議会では、タブレット端末の活用、オンライン会議の開催等、DX法（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みが加速化されてきております。

昨年、角田市議会といたしまして、市内小・中学校の授業視察、柴田町議会等の先進地視察を行いました。また、「議会におけるICT・デジタル活用の可能性」と題して県内市議会議員を対象とした研修会を、かくだ田園ホールにて開催し、調査・研究を重ね具体的な運用に向け、日々準備を進めているところでございます。

角田市議会は、「市民に開かれた議会」を目指し、市民の暮らしを支えていくこと、課題解決に向けた様々な支援策に取り組んでおります。市民の皆様から頂戴しました声を市政発展につなげるため、議員全員が一丸となり、全力で活動して参りたいと決意を新たにしております。

結びに、この一年が市民の皆様にとって、実り多き年でありますよう心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



▲議会だより編集会議メンバー左から、堀田孝一委員、湯村 勇委員、菊地利衛会長、八島定雄副会長、菅野マホ委員、星 隆悦委員



かくだ市議会だより第220号発行にあたり、議会だより編集会議よりご挨拶を申し上げます。
議会だよりは、定例会・臨時会の審議内容や結果、各種委員会の活動状況などをお知らせし、市民の皆様が「議会と市政」について身近に感じていただくことを目的に発行しております。
平成30年度より、市民参加型の紙面づくりの一環として、表紙は市内で撮影された四季折々の風景や行事などの写真・イラストを募集し、多くの皆様より応募をいただいております。
また、令和4年4月より、読みやすく、わかりやすい広報紙を目指し、「議会だよりモニター制度」を開始しております。議会だより発行の都度、9名のモニターの皆様よりご意見を頂戴し、読みやすい議会だより、親しみやすい議会だよりになるよう努めております。これからも議会だよりの編集に努力してまいりますので、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。結びに、令和5年が市民の皆様にとりまして健康で明るい幸せな年でありますようお祈り申し上げます。

行政視察報告

議会運営委員会では、所管する課題について先進自治体の事業を調査・研究するため、視察を行いました。

コロナ禍により議会運営のあり方が、タブレット端末を活用した会議や情報発信へと大きく変わりつつあります。角田市議会でも、数年前からタブレット端末の活用を含めた議会におけるICTについて協議を重ねています。
議会運営委員会では、令和4年10月28日（金）に登米市と柴田町におけるタブレット端末の導入・活用状況について行政視察を行いました。

【登米市】

「市民への議会情報の発信」「事務の合理化・効率化」するために、ICTを積極的に活用していくことが必要であることから、平成28年度にタブレット端末を導入した。登米市は平成17年に9町が合併して誕生した536㎡の広大な面積を有する市である。合併により地域ごとの課題も多様であり、市民の声を吸収するためのツールとして、県内でもいち早くタブレット端末を導入したが、活用状況については議員間で温度差が生じていた。そのため、令和3年度より見直しを図るため、タブレット端末を活用したオンライン会議でのワークショップを実施し、さらなるペーパーレス会議を推進する



▲登米市役所にて

ための協議が始まっている。

東日本大震災の際に安否確認や災害情報の収集・伝達が困難となったことを教訓とし、「災害時の安否確認・情報共有」「市民への適格な情報発信」「議員と議会事務局の連絡体制の強化」を推進するため、令和2年度にタブレット端末を導入し、活用が

【柴田町】

ため、タブレット端末は、

令和4年3月の福島県沖地震の際には、全議員がタブレット端末を活用した安否確認、災害情報の収集・伝達を行っている。大規模災害時には、電話やFAXが不通となる場合があるが、SNSは通常どおり使用でき、災害に関する情報をリアルタイムに発信できるため、連絡体制の強化が図られている。
また、タブレット端末は、いつでもどこでも必要な資料が閲覧できるため、町民の方からの質問について画面を見てもらいながら、具体的な説明ができるメリットもある。
タブレット端末の活用は「議会の機能強化」につながり、議会・議員活動の活性化が図られている。



▲柴田町議会議場にて



▲活用方法を確認

視察所感

「市民の利便性やニーズに合った交流を図る」「スピード感ある情報の収集・発信により市民の生命や生活を守る」ためのツール（道具）としてタブレット端末を活用し、議会一丸となって全力で取り組んでいる姿は、議会改革に対する強い意気込みを感じました。
今回の行政視察を参考にし、市民の皆様が納得していただけるような議会運営を目指し、努力を続けてまいります。

？議会のギモン

「議会運営委員会」ってなに？

▲ 名前のとおり、議会の運営がスムーズに進むように、協議・調査・審査などを行うための委員会です。定例会の日程や進行手順のほか、議会全体に関することを協議し、議会の中心的な役割を担っており、令和3年度には27回会議を開催しています。

【主な内容】

- 議会基本条例に関する事項
 - 議会の運営に関する事項
 - 議会改革に関する事項
 - 会議規則、委員会条例等に関する事項
 - 議長の諮問に関する事項
- 【定数】 6人
【任期】 2年



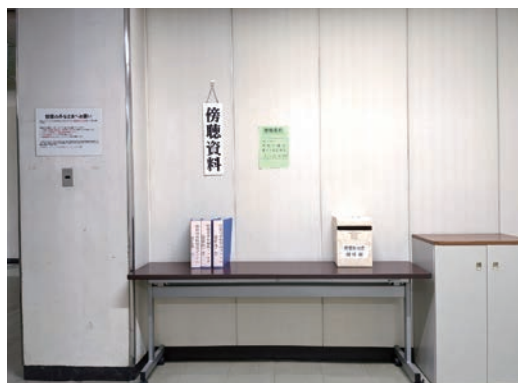
▲12月7日の議会運営委員会の様子（一般質問の順番を抽選棒で決定）

議場の傍聴を再開しています

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴を一時中止しておりましたが、再開しております。傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんが選んだ議員の活動や市政の方針などの説明を、ぜひご覧ください。

市役所東庁舎3階にある議会事務局までお越しください。予約は不要で先着順ですが、受付で氏名・住所・連絡先（電話番号）を記入いただきます。

コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴席定員は10人（定員の2分の1程度）となっており、間隔を空けて着席いただきます。



受付で資料の貸出も
行っています。



▲傍聴席から見た議場の様子

- マスク着用による咳エチケットの徹底、入場前のアルコール消毒液による手指消毒、検温のご協力をお願いします。
- スマートフォン等は音が出ないように設定してください。また、撮影や録音することはできません。

ライブ・録画配信を行っています



インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

角田市議会 映像配信 検索

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年を思い起こせば、3月16日の福島沖地震が第1に頭をよぎります。令和元年10月の東日本台風、令和2年2月の福島沖地震と2年連続の災害に疲弊していた矢先に震度6弱の大地震に見舞われ、商店街そして市内各所に大きな被害をもたらしました。

また、新型コロナウイルス感染症も、変異株の出現など未だ猛威を振るい、私たちの生活や市内の経済に大きな影響を与え続けています。

ロシアによるウクライナ侵攻も、衝撃的な出来事でした。石油や小麦などが滞ったばかりでなく、記録的な円安などもあり、電気料や食品などの価格高騰を招き、事業経営や市民生活への大きな打撃になっています。

このようなことを受け、議会でも地震災害復旧や物価高騰対策などの補正予算に関する議案が数多く審議されました。

令和5年は、卯年です。災害や新型コロナ、隣国間でのトラブルなど、様々な苦難をうさぎのジャンプ力で一気に飛び越えたいものです。その先には、新型コロナ禍前よりも豊かで、活気ある角田市が待っている気がしてなりません。議会だよりも、審議内容に加えて、議会の仕組みや議員の取り組みなどを分かりやすく伝えられるよう、もう一段ジャンプしたいと思います。

議会だより編集会議 会長 菊地 利衛